

設問1-4 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
色々な人の話が聞いて良かったです。
普通の親の接し方が、子供に影響をあたえているのはわかっているのですが、なかなか、つきはなして、子供の事を思ってやる事ができないでいます。つつい手を出して全部やってしまう事が多いので、少しずつ、見守ってやりたいと思います。
「子どもの修業のようで実は親の修業」とても納得しました。子離れ(子どもの力を信じて)しなくてはいけないと思いました。
100キロ完歩できるか不安な面もありますが、子どもの力を信じて、見守っていきたいと思います。
子供との接し方に気を付けていきたいと思いました。
今回3度目の参加ですので、ビデオ鑑賞も3回目です。何度見ても感動します。ディスカッションは、何度やっても慣れません。キンチョーします。
子どもの育ちのうえで大切なこと、考え方を改めて見直す機会となりました。
過許可という言葉が胸にささりました。子どもを信じて待つことの親の修業に忍耐をもってたずさわっていかうと思います。
「過許可にならない様」にが私の課題だなあと思いました。
手助けをしすぎてはいけないとわかっているけど、つついやってしまいます。子どもがつらいと親もつらい。でも、辛抱して見守らないといけないんですね。考えさせられてしまいます。何度ビデオを見ても、改めて反省です。やってはいけない子育ての過許可は、つついやっていると思いました。自分で時間を決めてやらせてはみましたが、きちんとやっている様に思えず、つつい注意してしまいます。これでは、子どもも私も成長できないと思いました。
なかなかビデオのように「見守る」「親の背中を見て学ばせる」という難しさを感じました。必要以上に声をかけ、目をかけてしまっているの、考えさせられました。
今、母親である自分自身のあり方を改めて考える機会になりました。
見守る事を今年も再確認
日頃、私達親がやっている事が悪い関わりにあてはまっていた。
ビデオの大ちゃんの親のように自分になれないです・・・
子供に対する接し方が勉強になりました。
他のお母さん方の意見が聞いて、とても勉強になった。映画の母の様に、子離れする様に努力しないといけないと思った。
ビデオの内容から、とても気づきや考えさせられることが多かったです。環境を提供することは難なくできるけど、そこに旅立った子どもがやりきるまで、黙って見守る親の力がすごく大事なんだと改めて気づかされました。頭では思っているけど、つつい口出ししすぎていて反省しました。また、色々な保護者の意見がきけて参考になりました。
日常の中で、手はあまり出さないものの、口は1~10まで出してしまうところもあり、今日のセミナーを受講して、すべてにおいて口を出すのではなく、見守りながら、口を出していかないといけないなあと思いました。
親が「子離れ」する事が一番難しいと感じました。子どもを信じてじっと待つことの大切さと大変さがよく分かりました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

4回目のセミナー受講ですが、日々の生活でついつい忘れてしまっている大切な事を思い出させてもらえます。てんびんの詩の映画も4回目ですが、今だから分かることが分かる場面が多々ありました。人としても親としてもまだまだ未熟すぎる私ですが、少しずつは成長していているのかなとも思いました。

3回目の上映を見たのですが、いつも最後のシーンで泣いてしまいます。他の保護者の方の意見がきけて貴重な時間でした。ありがとうございました。

子どもに対して転ばぬ先の杖をついてしまいがちで手出し口出しも多い日常を見直し面倒なことになっても経験させて考えさせるようにしたいといけないと感じました。

もっと子供の力を信じて子離れしなくては・・・と思います。知らず知らずの内に「5つの過」をしている自分に気づきました。上の子下の子関係なく5つの過をなくしていこうと思います。

しっばい、いやな事からおそれ、感覚的な本人の中での受け入れが人一倍体験が必用なわが子です。集団活動もエネルギーをかなりついやさないと参加できません。申し訳ない思いでの参加希望ですが、本人のやってみたい、昨年の人とのかかわりの良さを共にあじわいたいとの思いは強く今回も参加希望を出させていただきました。子供の思い、支える親ビデオを通して、人とのかかわり方、心の成長は体験の上にあると感じ、この様な活動を14回も行われ、その年々の子供達の活動にとりくむ姿や感情が、子供達の生きる力に結びついていると思います。支えて下さるスタッフのみなさんの思い入れがないとできない事と思います。これから14回目の夏、かがやく子供達のゴールの笑顔に、親の学ぶべき事がつまっている様に感じます。

過保護、過干渉、過許可になり過ぎているのかなと改めて思いました。日頃からつい先周りして声をかけてしまうので、やはり、親の方が変わらなければいけないんだなとも思いました。

子どもだけを頑張らせるのではなく、子どもの頑張る姿から、私も家族の為自分の為に精一杯生きていきたいと思いました。人の役に立つ為に今、何が出来るかを伝えていきたい。結果だけではなく、それまでの過程が大切だという事を改めて感じました。

自分中心に物事を考えるのではなく、人がこうしたらどう思うか、どんな気持ちがするか？これは大人でも子供でも常に考えて行動しなければいけないなとも思いました。いろんな人の力があってこそ、自分が成り立っているんだと思えました。毎日いろんな事に感謝しなければいけないですね。

日々過ごして忘れてしまっていることを色々と思い出させていただきました。

相手の気持ちをくみとった言動が出来る様に。相手の気持ちが良く分かる人に。コミュニケーションの能力が向上する様に。

娘は三女で上の姉達はみなおの100に2回ずつ参加しています。私もこのセミナーを何回も受けましたが、何回も自分を見つめ直すきっかけを頂いているような気がします。何回セミナーを受けてもいい親にはなれていませんが、背中を見せられるような、感動を分かち合えるような、親になりたいと思いました。

家でもいい背中を見せて、子どもの根っこの部分を育てていきたいなとも思いました。

過放任にならない程度に自律性を尊重することは難しいと思った。逆につい過干渉になってしまう。

子供は大丈夫か？とばかり考えていたが、自分は大丈夫か？と考えさせられた。

これから「自立」について考えていかなければいけない年齢になったのだと思った。子どもとの適度な距離を大切にしたい。

ビデオを見て毎回思う事ですが、時代も違うので全部とはいいいませんが、見習える所が多いと思えました。ついつい、過保護になってしまうので、もう少し、子供を見守ってやれるようになったらと思います。

設問1-4 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
子どもの自立をサポートする。今回、再度、考えてみたい。
普段考えることのないテーマを、改めて考え口に出すことができました。また、様々な意見を聞いて良い機会となりました。
ビデオを見て、子どもは困難にぶつかった時、試行錯誤しながら成長していくのだと思いました。たくましく育ててほしいと思いつつも、つい、自分の考えを押し通してしまったり、心配ばかりして、手を差しのべてしまっているなど反省しました。口や手を出すことは簡単だけど、見守ることの大切さを感じました。グループディスカッションを通じて、先輩の親御さんの話は聞いて、とても勉強になりました。
ビデオで、子供の心、親の心、周りの大人の対応を学ぶことが出来ました。
受講するのははじめてではないのですが、毎回、自分が過保護であることに気づかされます。「子どもを信じて待つ」ということを自分の課題として修業していきたいと思えます。
自分の力で考える事の大切さ、それを見守ることの大切さがわかりました。小さいことでも、自信をつけさせてやりたいと思えます。
子供を遠くで見守る事も必要だなあと思いました。
もう一度改めて子育てについて考えてみようと思いました。
あらためて、子どもとの接し方、伝え方などの大切さを考えました。
前回よりおの100を身近に感じる事ができました。
子供が5年生になり、だんだん親のいう事に対して反抗するようになり、今はこれが成長なんだと思いました。子供は親の所有物ではない、という事を改めて考えました。
ビデオのように子供を見守っていこうと改めておもいました。
3年ぶり2度目の受講ですが、同じ内容でも新鮮に感じました。忘れていた心構えを思い出させてもらいました。他の保護者の方との交流もよかったです。
子供との係り方のむずかしさを感じました。良かれと口を出した事が、過干渉だと知り、良くないので改めなければと思いました。大作の成長は家族の深い愛情があるからこそだと思います。子をつき放し、見守る事が大切なのだと思います。
子どもの自立をさまたげないように、手、口を出しすぎないように気をつけようと思いました。信じて見守る。むずかしいけど大切なことですね。
全て勉強になりました。帰宅後すぐに実践していこうと思いました。子供にどうなってほしいではなく、親の意識だと思いました。
皆さんも自分と一緒に、何らかの期待をもって、このおの100に参加されていると思えました。見守ることの大切さを気付いたような気がします。
初対面のお母さん方と意見や思いを共にでき、また違った考え方（でも、共感できる）を伺え、良かった。昨年も反省した、過〇〇、一年経ち、まだ過〇〇である自分に気付き、子の成長に追い付けるよう子離れしていきたいです。
普段も親としての行動、言動を考えさせられました。
親が「こうしなさい、ああしなさい」とばかり言わず、本人が自分で考える力をつけてほしい。
毎回他の学校の保護者の方の意見を聞く事ができて、とても新鮮で楽しいです。
自分自身勉強になりました。

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
子育て”5つの過”に、グループディスカッションで、大いに共感、もりあがりました。過許可状態で、どう子供に接したら良いの?という親御さんがおられたり、うちもそういえば・・・と思ったり。
子どもに経験させるということは、普段からやっているが、自分の力だけでやりとげさせることが出来ていなかった。手や口を出したくなっても、最後まで見守ることが出来る親になろうと思いました。
グループカンファレンスで、保護者の方々の意見が視野を広げさせてもらえて、聞いた意見をまねしたり参考にしてみたいと思います。子離れできていない自分を反省・・・。してはいけない過5ヶを取り入れてかかわらねばです。
子供が成長する為と考え、参加しましたが、親の子離れ、子供は親の思うようにはならない、過期待してしまうところがあります。頭では分かっている、つつい頭ごなしにしかったりしてしまうので、少し離れてみて、親も色々考えるきっかけになると思います。
親もこれを通じて勉強させてもらえて良かったです。
子供を変えよう、良い行動が出来るように導いていこうと過保護、過干渉になっていたと思います。時には子供のためにつき離す勇気を持たないといけないと思いました。
ビデオを観て、いつも子供の近くでしかったりほめたり諭したりではなく、ある程度大きくなれば遠くから見守る事の大切さを感じました。子供に対して、同じ様な思いで、おの100に参加される保護者同志ディスカスでき、とても良かった。
子どもが変わる前にまず親の考え方を考える事が大切だと思いました。
グループの中には2回目以上の方もいて、子どもが希望しての参加と聞き、初めての参加の子が来年も行きたくなるような経験をしてきて欲しいと思いました。
親離れ、子離れが出来ればと思います。他の方の意見が聞け良かったです。
他の保護者の方の声を聞いてよかったです。
うちの子どもは、お話に出た過許可で接してきています。何をやるにも「〇〇していい?」を必ずきいてきます。これまでの子育ての反省をして、もっと子どもにまかせないといけない、と感じています。
親(私自身)がわかってなかった!って感じた。
普段から、どんだけ手助けしすぎてるんだ・・・と思い、反省しました。見守るより、口出し、手出しした方が(親が)楽なだけなんですよね。子どものためにはなっていない、と思いました。
親が考えさせられるセミナーは少ないので良い経験となりました。子供を変えたいのなら親が変わらないといけない。よくわかってるのですが、なかなか変わらない。でも少しでも気を付けます。
子育てについて色々再確認できました。
ビデオ映像を観て、子供自身が考える力が大切だと思いました。家ではつつい何でも口出してしまふ事に反省です。
子どもとの距離の取り方は本当に難しいと思います。頭では分かっている、つい、口が先に動いてしまいます。自分の背中を見せれる様な、自分の背中を見てくれる様な子育てをしたいものです。
セミナーを受講して、ものがあるありがたみ、ありがとうと感謝の気持ちを子供に学んでほしいと思いました。そして親も変わらなければいけないことが分かりました。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

ビデオを見て感動しました。「人の役に立つ人間になりたい」という志を持ってほしいと思いました。

見守る大切さ、日頃自分が子供に接している姿を思い出しいろいろ反省点が見えました。